

第21期決算 (平成24年1月23日)

分配金 (1万口当たり、税引前)	分配金累計 (1万口当たり、税引前)	基準価額 (分配金落ち後)
0円	1,820円	4,693円

分配について

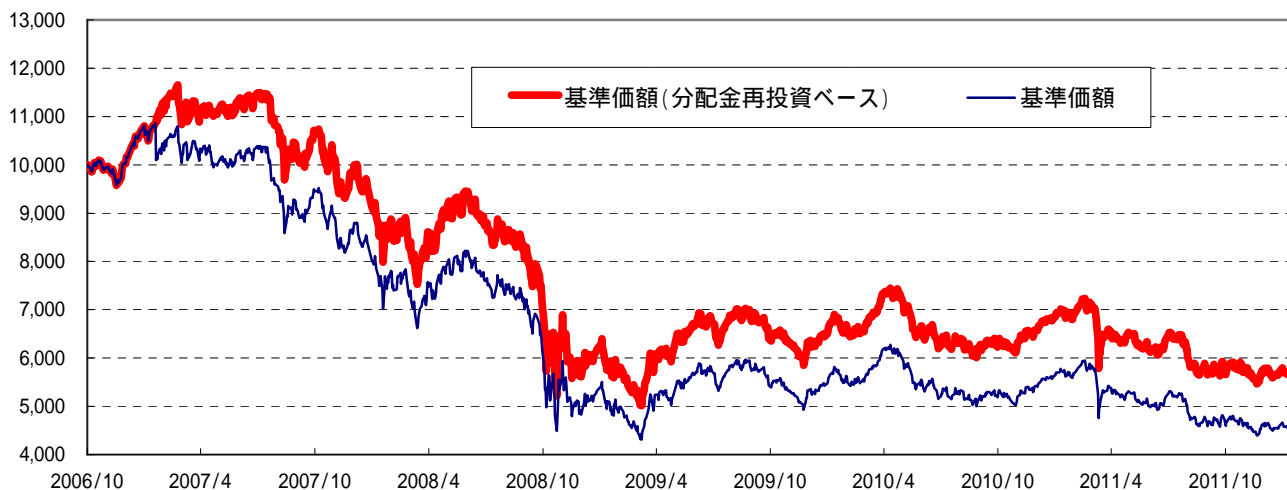
当ファンドの分配金額は、年4回(1月、4月、7月、10月)の決算日に分配対象額 から積極的に分配を行う基本方針のもと、基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。当期につきましては、分配金を1万口当たり0円といたします。今後とも、より一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益等の全額とします。
分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

運用状況

基準日:平成24年1月23日

基準価額推移 (期間:2006年10月5日(当ファンド設定日の前営業日)~2012年1月23日)



出所:みずほ投信投資顧問

当ファンドの設定日の前営業日の当初元本(1万口につき1万円)を起点とする推移。「基準価額(分配金再投資ベース)」は、「決算時に収益分配があった場合に、その分配金(税引前)をファンドに再投資したものと仮定して算出した収益率」に基づく当ファンドの1万口当たりの基準価額を表します。一方、「基準価額」は、こうした修正を一切加えていない実際の1万口当たりの基準価額です。(投資信託は、収益分配があった場合に、その分だけ基準価額が下がる仕組みになっています。)

上記グラフは、当ファンドの過去の一定期間における実績を示したものであり、将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません。

分配実績(直近12期)

決算期	決算日	分配金	決算期	決算日	分配金	決算期	決算日	分配金
第10期	平成21年4月23日	70円	第14期	平成22年4月23日	70円	第18期	平成23年4月25日	55円
第11期	平成21年7月23日	0円	第15期	平成22年7月23日	0円	第19期	平成23年7月25日	5円
第12期	平成21年10月23日	45円	第16期	平成22年10月25日	60円	第20期	平成23年10月24日	50円
第13期	平成22年1月25日	0円	第17期	平成23年1月24日	5円	第21期	平成24年1月23日	0円

各期の分配金額は、1万口当たり / 税引前の金額。

上記は、当ファンドの過去の一定期間における分配金額を示したものであり、将来の運用成果や収益分配を予想あるいは保証するものではありません。分配金額は、委託会社が収益分配方針に基づいて決定します。ただし、収益分配を行わない場合もあります。

本資料は、みずほ投信投資顧問が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドをお申込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りになり、投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が当ファンドへの投資にご判断ください。投資信託は、信託財産に組み入れられた株式・債券などの価格変動やその発行者にかかる信用状況などの変化、金利の変動、為替の変動などにより、基準価額が下落し投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者(受益者)の皆さまに帰属します。また、投資信託は、預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。

ファンドの特色

MHAM日本好配当株オープンは、主として「MHAM好配当利回り株マザーファンド」を通じて、わが国の株式へ投資を行い、高水準の配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

1. わが国の株式の中から、予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断される銘柄を中心に投資を行います。予想配当利回りの市場平均については、東京証券取引所第一部(加重平均、今期予想ベース)を基準とします。株式の組入比率は、原則として高位を維持します。「MHAM好配当利回り株マザーファンド」をマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用を行います。
2. 銘柄の選択にあたっては、下記の点を勘案しつつ、高水準かつ安定的な配当が予想される銘柄を厳選し投資します。
<銘柄選択のポイント>
安定的な配当が継続されるか
今後、増配が期待できるか
財務内容は健全か
流動性があるか(円滑な売買取引が可能か)
3. 年4回の決算時(1月、4月、7月、10月の各23日。ただし、休業日の場合は翌営業日)に収益分配を目指します。毎期、配当等収益を分配するとともに、売買益(評価益を含みます。以下同じ。)等がある場合には、基準価額の水準などを勘案した上で、配当等収益に加えて分配することを目指します。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益等の全額とします。分配金額は、分配対象額について積極的に分配を行う基本方針のもと、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。収益分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

基準価額の変動要因

当ファンドは、株式などの値動きのある証券等に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。**

株価変動リスク	当ファンドが投資する企業の株価が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、当ファンドが投資する企業が業績悪化や倒産等に陥った場合には、当ファンドの基準価額に大きな影響を及ぼすことがあります。なお、当ファンドでは、株式の組入比率を原則として高位に維持するため、株式市場の動向により基準価額は大きく変動します。
----------------	---

基準価額の変動要因は上記に限定されるものではなく、上記以外に「流動性リスク」、「信用リスク」、「ファミリーファンド方式で運用する影響」などがあります。

その他の留意点

収益分配金に関する留意点として、以下の事項にご留意ください。

- ・投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

本資料は、みずほ投信投資顧問が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドをお申込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りになり、投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が当ファンドへの投資に関してご判断ください。投資信託は、信託財産に組み入れられた株式・債券などの価格変動やその発行者にかかる信用状況などの変化、金利の変動、為替の変動などにより、基準価額が下落し投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者(受益者)の皆さまに帰属します。また、投資信託は、預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が別に定める単位 詳細は委託会社または販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込日の基準価額
購入代金	購入申込日から起算して4営業日目までにお支払いいただきます。 なお、販売会社が別に定める方法により、上記の期日以前に購入代金をお支払いいただく場合があります。
換金単位	1万口単位または1口単位 換金単位は、販売会社およびお申込コースにより異なる場合があります。また、販売会社によっては換金単位を別に設定する場合があります。
換金価額	換金請求受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として4営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までに販売会社の事務手続きが完了したものを当日分のお申込みとします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うために大口の換金請求には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	証券取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	無期限（平成18年10月6日設定）
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合、事前に投資者（受益者）の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させることがあります。 ・この信託契約を解約することが投資者のため有利であると認めるとき。 ・やむを得ない事情が発生したとき。 ・信託契約の一部解約により、受益権の口数が10億口を下回ることとなるとき。
決算日	毎年1月、4月、7月および10月の各23日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年4回の毎決算日に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2つの購入方法があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のコースのみの取扱いとなる場合があります。詳細は委託会社または販売会社までお問い合わせください。
信託金の限度額	5,000億円を上限とします。
運用報告書	1月および7月のファンドの決算時ならびに償還時に「運用報告書」を作成し、あらかじめ届出を受けた住所に販売会社よりお届けいたします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。配当控除および益金不算入制度が適用できます。

ファンドの費用・税金

<ファンドの費用>

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入申込日の基準価額に対して、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額とします。 基準日現在の手数料率の 上限は3.15%（税抜3%） です。
信託財産留保額	換金請求受付日の基準価額に対して、 0.3% の率を乗じて得た額をご負担いただきます。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	日々の信託財産の純資産総額に対し 年1.3125%（税抜1.25%） の率を乗じて得た額とします。 運用管理費用は毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	以下のような費用等が投資者の保有期間中、そのつど（監査費用は日々）がかかります。 信託財産に関する租税 / 監査費用 / 信託事務の処理に要する諸費用 / 外国における資産の保管等に要する費用 / 資金の借入れを行った際の当該借入金の利息 / 組入有価証券の売買時の売買委託手数料および先物・オプション取引等に要する費用等 その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用等（上限額等を含む）を表示することができません。

上記手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

<税金>

個人の投資者（受益者）の場合、普通分配金および換金時・償還時の差益に対して課税されます。

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

本資料は、みずほ投信投資顧問が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドをお申込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りになり、投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が当ファンドへの投資に関してご判断ください。投資信託は、信託財産に組み入れられた株式・債券などの価格変動やその発行者にかかる信用状況などの変化、金利の変動、為替の変動などにより、基準価額が下落し投資元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者（受益者）の皆さまに帰属します。また、投資信託は、預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。

